

↓ 当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- [45079] キメリズム解析 移植前
- [45081] キメリズム解析 ドナー
- [45083] キメリズム解析 移植後

受託開始日

- 平成30年4月2日(月)



キメリズム解析

造血幹細胞移植は、その対象が50歳以上の高齢者にも拡大された2000年以降、実施件数が年々拡大しています。造血幹細胞移植においては、レシピエント(患者)の血液細胞がドナー(提供者)由来細胞に置き換わるための“(ドナー由来細胞の)生着”の確認が重要です。とりわけ、近年、骨髄幹細胞などに比して生着能力が相対的に低く、生着までに日数を要する臍帯血移植の割合が高まっているなかであって、生着確認を的確に実施することの重要性は増しているといえるでしょう。

移植後のレシピエント体内にはドナー由来血液細胞とレシピエント由来血液細胞が同時に存在する“キメリズム”と呼ばれる状態が出現するため、生着確認には由来を異にする細胞同士を識別し得るマーカーがなければなりません。これまでキメリズムの状態を把握するための“キメリズム解析”にはさまざまな手法が提案されてきましたが、定量性ならびに感度に優れ、且つほぼ全ての移植患者に適用できるのが、ヒトゲノム内に多数散在するマイクロサテライト／短鎖反復配列(short tandem repeat ; STR) マーカーです。STRは個々人でその反復配列の繰り返し数に違いを認めることから、個体識別に好適であり、法医学領域でも個体識別に利用されています。

弊社が実施するキメリズム解析では、9種類のSTRマーカーを用いて、まず移植前のドナーおよびレシピエントの間で繰り返し数の異なるSTRマーカーを選別し、さらにそうして得られた識別マーカーにて移植後のキメリズム状態を判定します。

検査要項

| 項目コード | 45079 | 45081 | 45083 |
|----------|---|-----------------|-----------------|
| 検査項目名 | キメリズム解析 移植前*1,2 | キメリズム解析 ドナー*1,2 | キメリズム解析 移植後*1,2 |
| 検体量/保存方法 | EDTA加血液 5.0mL / 冷蔵 [容器番号：14番] または 骨髄液 1.0mL / 冷蔵 [容器番号：22番] | | |
| 検査方法 | フラグメント解析法 | | |
| 基準値 | (設定せず) | | |
| 所要日数 | 5～11日 | | |
| 検査実施料 | 未収載 | | |
| 備考 | *1：受付曜日：月～金曜日(休祝日とその前日は不可) *2：ご依頼の際、患者氏名は「記入上の留意事項」を参照してご記入下さい。 ご依頼に際しては、『遺伝子検査依頼書』をご利用下さい。 | | |

「患者氏名」記入上の留意事項

- 患者氏名の記入は、下記の記入例を参照してご記入下さい。

記入例) レシピエント：ヤマダ タロウ、ドナー：ヤマダ ハナコ の場合

移植「前」「後」およびドナーの患者情報は、患者名の後に一文字スペースを空けてご記入下さい。

- ・ [45079] キメリズム解析 移植前 ➡ ヤマダ タロウ マエ
- ・ [45081] キメリズム解析 ドナー ➡ ヤマダ ハナコ ドナー
- ・ [45083] キメリズム解析 移植後 ➡ ヤマダ タロウ アト

注) 「移植後」解析をご依頼される場合は、弊社での「移植前」「ドナー」の検査依頼が必要となります。
他施設での実施済みデータではお預かり出来ませんので、予めご了承下さい。

参考文献

- 日本血液学会：造血器腫瘍診療ガイドライン，2013.
- 清井 仁：日内会誌 104(6)：1180-1188，2015.
- NCCN：Clinical Practice Guidelines in Oncology：Version 2，2014.